



本器は、ボーリング孔に多段式に変位計を設置でき、最下層不動点を基準として、各深度の鉛直変位を測定することができます。

検出部には高精度な差動トランスを使用し、絶縁低下による影響も受けにくいいため、長期にわたり安定した測定ができます。

【特長】

- ・高精度の差動トランスを採用しています。
- ・絶縁低下の影響を受けにくい構造となっています。
- ・機械的磨耗部がなく機械的、電気的に安定度の高い設計です。
- ・変位検出部の地盤とのフリクションを効果的にカットする設計です。
- ・ブルドン管式アンカーにより、変位計の定着も容易です。
- ・送水による層別沈下計管内の洗浄が可能です。
- ・全数ご指定の設置深度での組立検査を実施しています。
- ・堅牢な構造で現場での取り扱いも容易です。

【仕様】

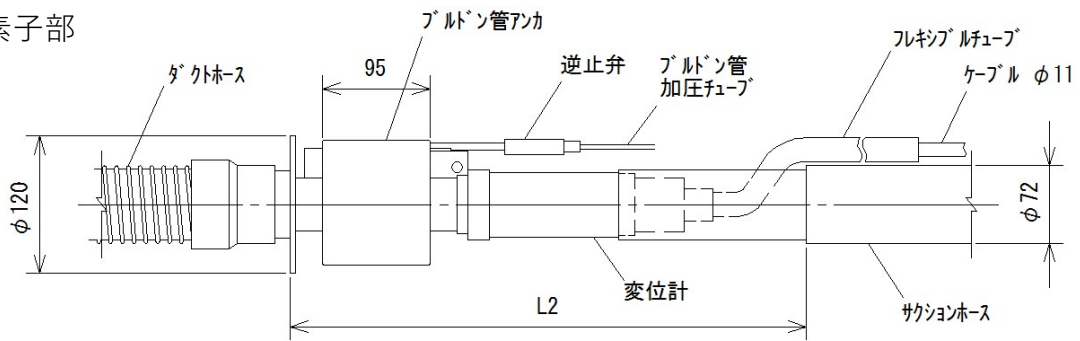
項目	仕様	
形式	BBD-50-□ ^{※1}	BBD-100-□ ^{※1}
使用変位計ユニット	DIS-50B	DIS-100B
容量 ^{※2}	± 25mm	± 50mm
分解能 ^{※2}	0.005mm (0.1目盛相当)	0.01mm (0.1目盛相当)
直線性 ^{※2}	0.8%以下 (FSに対し)	1.5%以下 (FSに対し)
アンカ方式	ブルドン管式 (水圧拡張方式)	
沈下検出素子数	1～7素子 (ご指定による)	
使用温度範囲	0～+80℃	
付属ケーブル	内部シールド付フレキシブルニールケーブル(VC-03-2-2-Φ11)	
外装	スチール、黄銅、銅、ビニルホース	
重量 (ケーブル、建て込み用 ホース類及びワイヤを 除いた値)	基準アンカ部 (小：約12kg、大：約56kg) 沈下検出素子部 (BBD-50：約9kg、BBD-100：約11kg) 接続ロッド部 (1m当り)：約3kg	

注^{※1} □内は沈下検出素子数が入ります。

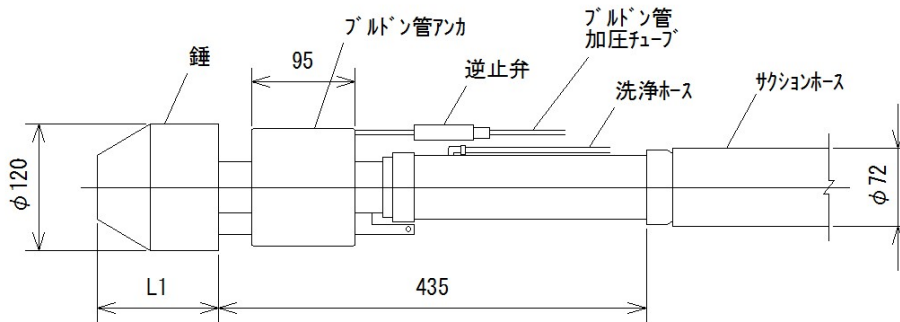
注^{※2} 沈下検出素子単体の値です。

【外観図】

沈下検出素子部

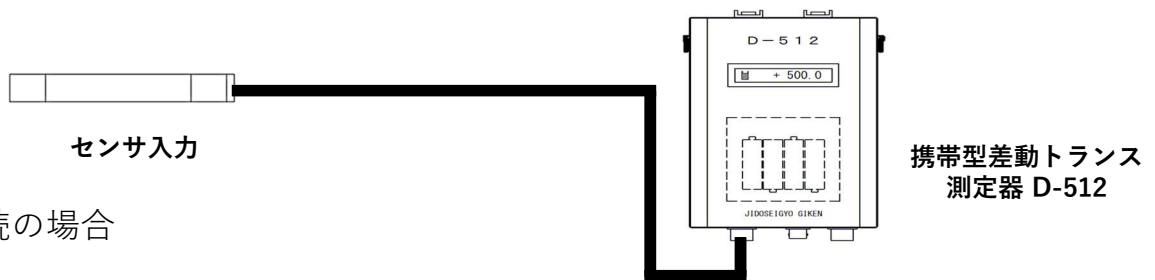


基準アンカー部

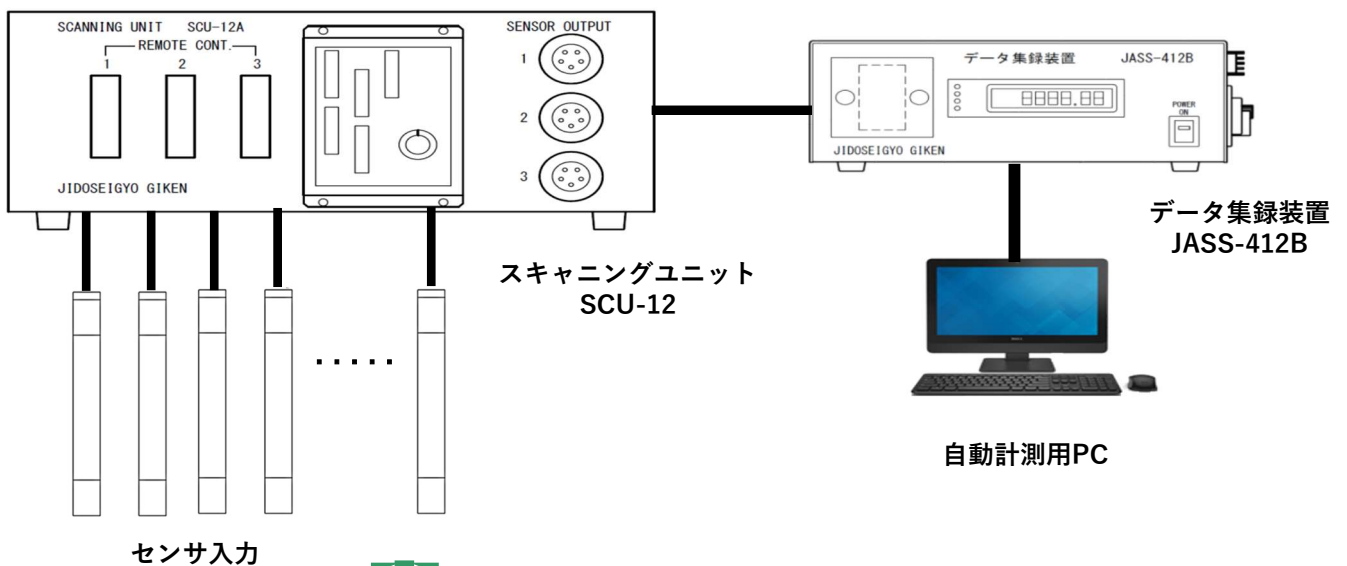



【測定ブロック図】

◆単独接続の場合



◆複数接続の場合



 株式会社 自動制御技術研究所

●本社所在地 〒143-0022
 東京都大田区東馬込1丁目7番5号
 TEL 03-3776-1213
 FAX 03-3775-1142
 E-mail info@jsg.co.jp

掲載内容は予告なく変更することがあります。
 掲載内容は平成29年4月現在のものです。